

第3回 巴川予測システム構築に向けた研究会の開催

◆アピールポイント	○令和6年2月に開催した研究会につづき、有識者を交えた3回目の会合を開催します。 ○災害発生時における早期の避難行動につなげるため、気象予報、雨量、河川水位等の情報を基に、河川水位や氾濫域を予測し、その結果を提供するシステムを構築します。【吉田副市長 出席有】
◆日時	令和6年12月16日(月) 15時から17時
◆場所	静岡庁舎8階 市長公室
◆内容など	1 主な検討内容 ・水位・氾濫域予測モデルの精度検証 第2回研究会で対象とした令和4年台風15号など既往4洪水に加えて、令和6年台風10号など新たな5洪水を追加してモデルの精度を検証します。 ・実況、予測雨量の精度検証 第2回研究会で対象とした6洪水に加えて、台風性や前線性の7洪水を追加して実況、予測雨量の精度を検証します。 ・避難指示への活用や住民周知 第2回研究会では、予測システムの浸水リスク情報を市内部で避難指示に活用する案が有力とされたが、第3回研究会では、広く住民に情報提供する他の方策を検討します。 2 今後の予定 研究会の検討結果を踏まえ、現在庁内で活用している巴川予測システムを改善し、令和6年度末の市民への情報提供を目指します。また、さらなる精度向上対策を引き続き研究していきます。
◆その他	・第3回研究会の会議録等は、後日、市公式ホームページで公開させていただきます。 ・第2回研究会の内容は市HPに掲載しています。 https://www.city.shizuoka.lg.jp/s9568/s012539.html

別紙資料 有

【問合せ】河川課 (静岡庁舎6階)

担当 鈴木、田中、八木

電話 054-221-1087

巴川予測システム構築研究会（第3回）

出席者名簿

日時：令和6年12月16日（月）15:00～17:00

場所：静岡市役所静岡庁舎8階 市長公室

役職	職名	氏名	専門分野等
会長	静岡市 副市長	よしだ のぶひろ 吉田 信博	代表
副会長	静岡市 建設局長	つかだ としあき 塚田 俊明	市所管河川の管理者
委員	京都大学 防災研究所 流域災害研究センター長・教授	かわいけ けんじ 川池 健司	都市水害 内外水氾濫解析
委員	京都大学 防災研究所 社会防災研究部門・教授	さやま たかひろ 佐山 敬洋	洪水予測 RRI モデル開発
委員	京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門・准教授	やまぐち こうせい 山口 弘誠	降雨予測 水文気象情報
委員	静岡大学 防災総合センター 副センター長・教授	うしやま もとゆき 牛山 素行	災害情報伝達 人的被害分析
委員	国土交通省 中部地方整備局 河川部水災害予報センター長	もり あつし 森 敦史	水災害の監視・予測など
委員	一般財団法人河川情報センター 審議役	いわみ よういち 岩見 洋一	河川・流域情報提供
委員	気象庁 静岡地方气象台 次長	うえきよ なおたか 上 清 直隆	気象業務法など
委員	静岡県 交通基盤部 河川砂防局長	やまだ まさし 山田 真史	巴川等管理者
委員	静岡市 危機管理局 次長	やまだ たかし 山田 孝	避難指示など住民への周知
委員	静岡市 上下水道局下水道部長	おおいし かずよし 大石 一誠	下水道管理者

（敬称略）